

平成30年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 心理学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	心理学、心理学研究法、統計学の考え方、基本的な用語・概念、心理学の発展に貢献した人物についての知識を問うために「語句問題」を課す。また、それらを応用して人の行動や様々な現象について考える力、基礎的な実験を計画する力、特定の実験方法・データ分析を客観的に評価したり対案を出したりする力、統計学の基礎的知識を応用する力、さらには実際にデータを分析し結果を解釈する力などを問うために「文章問題」を課す。

平成30年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 心理学 全3枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 3枚、解答用紙 6枚を配付する。

次の問いすべてについて解答しなさい。解答用紙は1問につき1枚を使用し、
残り2枚は下書き用とする。

問1 期待、文脈、情動、動機づけは知覚にどのように影響するか、「知覚的構え」というキーワードを用いて論じなさい。

問2 インターネットを介して誤ったニュースや^{くち}口コミが広がり、社会問題となっている。人々が誤った情報を容易に受け入れ、信じてしまうのはなぜだろうか。また誤った情報に^{だま}騙されないようにするにはどうしたら良いだろうか。

問3 ある標準テストの点数は正規分布に従い、母平均が70点であることが分かっている。そのテストを受けたA大学の学生100人の点数を無作為に9人抽出したところ下記のようになった。

59, 66, 68, 71, 76, 79, 80, 85, 91

(a) この標本の平均値および不偏分散を求めなさい。計算式も示すこと。

(b) A大学の学生の平均点は、母平均と有意に異なるといえるか有意水準5%で検定しなさい。

計算式も示すこと。必要であれば別添（問題用紙3枚目）の「t分布表」を用いること。

問4 次の用語・人名の中から5つを選択し、説明しなさい。6つ以上解答した場合は、点数の高い方から5つの解答を得点とする。

- ① 無条件刺激 (unconditioned stimulus)
- ② シナプス後電位 (post-synaptic potential)
- ③ 身体的認知 (embodied cognition)
- ④ サッケード (saccade)
- ⑤ 間隔尺度 (interval scale)
- ⑥ プレグナンツの法則 (law of Prägnanz)
- ⑦ 生態学的妥当性 (ecological validity)
- ⑧ G. T. フェヒナー (Gustav Theodor Fechner)

別添 t分布表

問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 山田剛史・村井潤一郎（2004）.『よくわかる心理統計』 京都：ミネルヴァ書房. p. 236

より